

## 美学・西洋美術史専攻分野科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
美学特論Ⅰ	未定	2	文学研究科教官	後期 水曜日 2講時	
美学・西洋美術史特論Ⅰ	ルネサンス美術と魔術:美術家 と魔術師が会うとき	2	足達 薫	前期 月曜日 3講時	
美学・西洋美術史特論Ⅱ	ルネサンス美術における視覚 的ユーモア	2	足達 薫	後期 月曜日 3講時	
芸術学特論Ⅰ	西洋中世におけるキリスト教と 美術	2	谷古宇 尚	前期集中 その他 連講	
芸術学特論Ⅰ	フランス新古典主義の美術	2	阿部 成樹	前期集中 その他 連講	
美学・西洋美術史研究演習Ⅰ	西洋美術研究	2	足達 薫	前期 金曜日 5講時	
美学・西洋美術史研究演習Ⅱ	西洋美術研究	2	足達 薫	後期 金曜日 5講時	
美学研究演習Ⅰ	美学研究演習Ⅰ	2	FONGARO ENRICO	前期 木曜日 5講時	

科目名：美学特論 I / Aesthetics (Advanced Lecture I)

曜日・講時：後期 水曜日 2 講時

セメスター：2 学期 単位数：2

担当教員：文学研究科教員

コード：LM23207, 科目ナンバリング：LIH-ART608J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：
2. Course Title (授業題目)：
3. 授業の目的と概要：
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：
5. 学習の到達目標：
6. Learning Goals (学修の到達目標)：
7. 授業の内容・方法と進捗予定：
8. 成績評価方法：
9. 教科書および参考書：
10. 授業時間外学習：
  11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：美学・西洋美術史特論 I / Aesthetics and History of European Fine Arts (Advanced Lect

曜日・講時：前期 月曜日 3 講時

Semester：1 学期 単位数：2

担当教員：足達 薫

コード：LM11308, 科目ナンバリング：LIH-ART609J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ルネサンス美術と魔術：美術家と魔術師が出会うとき
2. Course Title (授業題目)：Renaissance Art and Magic: Encounter between Artist and Magician
3. 授業の目的と概要：現代の美術や写真において、現実と虚構、自然と技術のあいだの境界線を揺らがせるような作品をしばしば「魔術的」と呼ぶことがあります。しかし、美術と魔術の相関関係はすでに古代において発見されていたものであり、初期近代にかけて美術と魔術（そして科学）は、自然を操作する人為的技芸として本質的レベルで交錯しながら発展しました。この授業では、特にイタリア・ルネサンスの時代の美術に注目して、美術と魔術の共鳴現象を具体的な作品や作家の事例の分析を通じて、現代では忘れられがちな美術の一側面を解説します。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In contemporary art and photography, we often refer to works of art that shake the boundaries between reality and fiction, nature and technology as "magical. However, the correlation between art and magic was already discovered in ancient times, and in the early modern period, art and magic (and science) developed as artificial arts that manipulate nature, intermingling at an essential level. In this class, we will focus on the Italian Renaissance in particular, and through the analysis of specific works and examples of artists, we will explain aspects of art that are often forgotten in the modern world.
5. 学習の到達目標：美術作品および作家を歴史的な脈と照らし合わせて分析する問の立て方および分析の手順を理解する。古代から初期近代のイタリアにおける美術の展開について理解を深める。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Understanding how to formulate questions and procedures for analyzing works of art and artists in relation to their historical contexts.  
Understanding of the development of art in Italy from ancient times to the early modern period.
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
この科目は「オンライン授業」を予定しています(2022 年 2 月現在：状況により変更あり)。  
Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。  
Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。  
  
1：プロローグ——生きている彫像？  
2：美術と魔術の共鳴現象——古代からルネサンスへ  
3：同時代の言説における美術と魔術  
4：イメージ魔術と肖像画 (1)  
5：イメージ魔術と肖像画 (2)  
6：絵画と暗号 (1)  
7：絵画と暗号 (2)  
8：怪物の創造 (1)  
9：怪物の創造 (2)  
10：絵画と記憶術 (1)  
11：絵画と記憶術 (2)  
12：絵画と鏡魔術 (1)  
13：絵画と鏡魔術 (2)  
14：絵画と呪い  
15：エピローグ——絵画と錬金術  
(註 1：資料作成の過程で発見した事例に基づいて予定や各回のテーマを入れ替えたり修正したりすることがあります)  
(註 2：この授業では、今から見れば差別的だったりエロティックであったりする作品や描写がしばしば取り上げられます。特に、女性と男性の露骨な裸体や性的部位が現れる点について、受講する場合はご了承ください)
8. 成績評価方法：  
毎回の授業における「問い」に対するコメントカードを総合して評価します。
9. 教科書および参考書：  
授業で指示します。
10. 授業時間外学習：配布資料をヒントにしなが、授業で取り上げた名作や問題作をインターネットや画集で見直すと、記憶と理解が深まりますのでおすすめです。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし  
この授業では、今から見れば差別的だったりエロティックであったりする作品や描写がしばしば取り上げられます。特に、女性と男性の露骨な裸体や性的部位が現れる点について、受講する場合はご了承ください。

メールアドレスは kaoru.adachi.d1●tohoku.ac.jp です。(●は@)

科目名：美学・西洋美術史特論Ⅱ／Aesthetics and History of European Fine Arts (Advanced Lect

曜日・講時：後期 月曜日 3講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：足達 薫

コード：LM21306, 科目ナンバリング：LIH-ART610J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ルネサンス美術における視覚的ユーモア

2. Course Title (授業題目)：Visual Humor in Renaissance Art

3. 授業の目的と概要：美術という日本語に含まれた「美」という言葉は、しばしば、絵画や彫刻が美がかりでなく、もっと多様な感覚を生み出すという事実を忘れさせてしまいます。しかし、古代から現代まで、絵画や彫刻は笑いをも生み出してきました。この授業では、イタリア・ルネサンス美術を素材にして、視覚的ユーモアがいかにして生起していったかを具体的な作品を通じて理解します。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The word "beauty" in the Japanese word "art" often makes us forget the fact that paintings and sculptures create not only beauty but also more diverse senses. However, from ancient times to the present, painting and sculpture have also produced laughter. In this class, we will look at Italian Renaissance art to understand how visual humor emerged through specific works.

5. 学習の到達目標：美術作品を歴史的な脈に位置づけて分析する視点と方法を理解する。

15～16世紀イタリアの興味深い美術作品についての知識を身につける。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Understand the perspectives and methods of analyzing works of art by placing them in historical contexts.

To understand the flow of major works of Italian art in the 15th and 16th centuries.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

この科目は「オンライン授業」を予定しています(2022年2月現在：状況により変更あり)。

Classroomを使用して講義資料と講義情報を発信します。

Classroomにアクセスし、クラスコードを入力してください。

1：プロローグ——イメージで笑わせるためのいくつかの例

2：ルネサンス文化における笑い

3：笑わせるためのいくつかの方法——アリストテレス『詩学』を起点として

4：エロス (1)

5：エロス (2)

6：パロディ (1)

7：パロディ (2)

8：逆転 (1)

9：逆転 (2)

10：連想 (1)

11：連想 (2)

12：皮肉 (1)

13：皮肉 (2)

14：誇張 (1)

15：誇張 (2)

(註1：資料作成の過程で発見した事例に基づいて予定や各回のテーマを入れ替えたり修正したりすることがあります)

(註2：この授業では、今から見れば差別的だったりエロティックであったりする作品や描写がしばしば取り上げられます。特に、女性と男性の露骨な裸体や性的部位が現れる点について、受講する場合はご了承ください)

8. 成績評価方法：

毎回の授業における「問い」に対するコメントカードを総合して評価します。

9. 教科書および参考書：

授業で指示します。

10. 授業時間外学習：配布資料をヒントにしながら、授業で取り上げた名作や問題作をインターネットや画集で見直すと、記憶と理解が深まりますのでおすすめです。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

この授業では、今から見れば差別的だったりエロティックであったりする作品や描写がしばしば取り上げられます。特に、女性と男性の露骨な裸体や性的部位が現れる点について、受講する場合はご了承ください。

メールアドレスはkaoru.adachi.d1●tohoku.ac.jpです。(●は@)

科目名：芸術学特論 I / Aesthetics and Arts (Advanced Lecture I)

曜日・講時：前期集中 その他 連講

Semester：1 学期集中 単位数：2

担当教員：谷古宇 尚

コード：LM98818, 科目ナンバリング：LIH-ART611J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：西洋中世におけるキリスト教と美術
2. Course Title (授業題目)：Christianity and Art in Medieval
3. 授業の目的と概要：ヨーロッパ中世美術史を概観できるようになる。聖堂や修道院における建築・絵画・彫刻の特徴を把握する。特にキリスト教の基本的な教義に注目しつつ、宗教と美術の関係を理解する。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：To be able to survey the art of medieval Europe. To learn distinct characteristics of architecture, painting, and sculpture in churches and monasteries. To understand the relationships between religion and art, focusing on key tenets of Christianity.
5. 学習の到達目標：美術作品の造形的側面や形式、図像について調べる方法を学び、歴史的な背景をふまえて作品解説ができるようになる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：You will acquire skills to analyze formal aspects and meanings of art works, and will be able to describe them against the historical background.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  1. イントロダクション
  2. 古代から中世へ (1)
  3. 古代から中世へ (2)
  4. 見えない神、見える神、神のしるし (1)
  5. 見えない神、見える神、神のしるし (2)
  6. 見えない神、見える神、神のしるし (3)
  7. 聖遺物と天国 (1)
  8. 聖遺物と天国 (2)
  9. 聖母マリアの図像 (1)
  10. 聖母マリアの図像 (2)
  11. 聖母マリアの図像 (3)
  12. フランシスコ会の美術と宣教 (1)
  13. フランシスコ会の美術と宣教 (2)
  14. フランシスコ会の美術と宣教 (3)
  15. まとめ
8. 成績評価方法：

最終回試験
9. 教科書および参考書：

授業中に指示する。To be provided during the course.
10. 授業時間外学習：予習：講義で取り上げる作品について、美術史上の基礎的な事柄を確認しておく。

復習：講義の内容を自分でまとめる。

Before class: learn basic knowledge about the art works which will be explained in class.  
After class: review and summarize the content of lectures.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：芸術学特論 I / Aesthetics and Arts (Advanced Lecture I)

曜日・講時：前期集中 その他 連講

セメスター：1 学期集中 単位数：2

担当教員：阿部 成樹

コード：LM98819, 科目ナンバリング：LIH-ART611J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス新古典主義の美術
2. Course Title (授業題目) : Neo-classical Art in France
3. 授業の目的と概要： フランスを中心とする新古典主義美術の主要な作品と作家、および様式上の特質を把握するとともに、趣味の変遷から流派の形成までを含む歴史的力学についての問題意識を得ることを目指します。  
具体的には、フランス新古典主義の彫刻、建築、絵画の各分野について概観し、その特質を把握するとともに、それを生み出した社会的文脈についても考察します。  
さらに新古典主義絵画における代表的な流派であるダヴィッドとその流派を取り上げ、フランス革命期の表象をめぐる闘争との関わりや、集団的個性の形成といった問題について考察します。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : This course aims to understand the major works, artists, and stylistic characteristics of French neoclassical art, and to gain an awareness of the historical dynamics, including the transition of taste and the formation of schools.  
Specifically, we will review the fields of French neoclassical sculpture, architecture, and painting to understand their characteristics and to examine the social context in which they were created.  
In addition, we will focus on David and his school, a representative school of neoclassical painting, and discuss their relationship to the struggle for representation during the French Revolution and the formation of collective individuality.
5. 学習の到達目標：新古典主義美術の様式的特徴や主要な作品、作家について、一通りの知識を得ること。  
ある時代の美術の潮流と、社会との関わりについて、専門的な考え方ができるようになること。  
専門的な西洋美術史研究のあり方についての理解を得ること。
6. Learning Goals (学修の到達目標) : To gain a general knowledge of the stylistic characteristics of neoclassical art and its major works and artists.  
To be able to think academically about the trends in art of a given period and their relationship to society.  
To gain an understanding of the method of Western art history research.
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
以下の内容を適宜時間割内に割り振って進めます。
  - 1) 新古典主義美術の「発見」と定義
  - 2) 考古学的側面
  - 3) ヴィンケルマンと美術史
  - 4) 新古典主義彫刻
  - 5) 新古典主義建築
  - 6) 新古典主義絵画：「ダヴィッド革命」以前
  - 7) 新古典主義絵画と線の美学：タブラ・ラサ
  - 8) 新古典主義絵画：ダヴィッド前期
  - 9) 新古典主義絵画：ダヴィッド後期
  - 10) フランス革命の表象文化
    - 11) ダヴィッド派の形成
    - 12) ダヴィッド派第1世代：ジロデ、ジェラルール、グロ
    - 13) ダヴィッド派第2世代：アングルほか
    - 14) 全体のまとめ

\*受講生の理解度を見ながら進行しますので、各回の内容は変更することがあります。
8. 成績評価方法：  
事後レポートによる (100%)
9. 教科書および参考書：  
もっとも有用な参考書は、以下の文献です。  
D. アーウィン『新古典主義』岩波書店、2001年
10. 授業時間外学習：配付資料を読み込んでください。
  11. 実務・実践的授業/Practical business  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practical business》
  12. その他：なし

科目名：美学・西洋美術史研究演習 I / Aesthetics and History of European Fine Arts (Advanced Semi

曜日・講時：前期 金曜日 5 講時

Semester : 1 学期 単位数 : 2

担当教員：足達 薫

コード：LM15505, 科目ナンバリング：LIH-ART612J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：西洋美術研究

2. Course Title (授業題目) : Research on Western Art

3. 授業の目的と概要：古代から現代までの西洋美術史を対象にして、英語の研究論文を読解しながら、作品や作家についての「問い」を立てて調査および分析を行い、先行研究を踏まえた発表を行います。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : While reading English research papers on the history of Western art from ancient times to the present, we will raise 'questions' about works and writers, conduct research and analysis, and make presentations based on previous research.

5. 学習の到達目標：西洋美術に関する基本的な方法と用語を習得し、作品の分析と「問い」の設定（立論）、研究発表の方法を理解すること。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : To master the basic methods and terms related to Western art, and to understand how to analyze works, set 'questions' (arguments), and present research.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

この科目は「対面授業」を予定しています(2022年2月現在：状況により変更あり)。

また、Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。

Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

1：ガイダンス (1) 研究の目的とこれからの予定

2：ガイダンス (2) 「問い」をいかに立て、先行研究に向き合うか

3：発表と議論

4：発表と議論

5：発表と議論

6：発表と議論

7：発表と議論

8：発表と議論

9：発表と議論

10：発表と議論

11：発表と議論

12：発表と議論

13：発表と議論

14：発表と議論

15：発表と議論

(注：発表のための準備および文献調査のために順番を入れ替えることがあります)

8. 成績評価方法：

発表の到達度および授業での議論への参加度を総合して評価します。

9. 教科書および参考書：

読解する英語の研究論文は授業の中で決定し、配布（またはダウンロード先を指示）します。

10. 授業時間外学習：発表者は先行研究の調査、読解、翻訳（全訳）、発表のための資料作成を行います。受講生はあらかじめ授業で取り上げられる主な作家や作品について各自で調査し、基本的な理解を深めておきます。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

美学・西洋美術史専攻の所属学生は後期も連続して履修すること。

出席が義務となりますので、やむを得ず欠席する場合は必ず事前に連絡してください（他の講義、演習などの時間を通じてでも OK です）。また、課題を進める上での質問や相談があれば、とくに毎週水曜日 13:00~14:00 に研究室へ、または次の E メールへご連絡ください。Kaoru.adachi.d1●tohoku.ac.jp (●は@に変えて送信してください)。

科目名：美学・西洋美術史研究演習Ⅱ／Aesthetics and History of European Fine Arts (Advanced Semi

曜日・講時：後期 金曜日 5講時

Semester：2学期 単位数：2

担当教員：足達 薫

コード：LM25505, 科目ナンバリング：LIH-ART613J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：西洋美術研究

2. Course Title (授業題目)：Research on Western Art

3. 授業の目的と概要：古代から現代までの西洋美術史を対象にして、英語の研究論文を読解しながら、作品や作家についての「問い」を立てて調査および分析を行い、先行研究を踏まえた発表を行います。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：While reading English research papers on the history of Western art from ancient times to the present, we will raise 'questions' about works and writers, conduct research and analysis, and make presentations based on previous research.

5. 学習の到達目標：西洋美術に関する基本的な方法と用語を習得し、作品の分析と「問い」の設定(立論)、研究発表の方法を理解すること。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：To master the basic methods and terms related to Western art, and to understand how to analyze works, set 'questions' (arguments), and present research.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

この科目は「対面授業」を予定しています(2022年2月現在：状況により変更あり)。

また、Classroomを使用して講義資料と講義情報を発信します。

Classroomにアクセスし、クラスコードを入力してください。

1：発表と議論

2：発表と議論

3：発表と議論

4：発表と議論

5：発表と議論

6：発表と議論

7：発表と議論

8：発表と議論

9：発表と議論

10：発表と議論

11：発表と議論

12：発表と議論

13：発表と議論

14：発表と議論

15：発表と議論

(注：発表のための準備および文献調査のために順番を入れ替えることもあります)

8. 成績評価方法：

発表の到達度および授業での議論への参加度を総合して評価します。

9. 教科書および参考書：

読解する英語の研究論文は授業の中で決定し、配布(またはダウンロード先を指示)します。

10. 授業時間外学習：発表者は先行研究の調査、読解、翻訳(全訳)、発表のための資料作成を行います。受講生はあらかじめ授業で取り上げられる主な作家や作品について各自で調査し、基本的な理解を深めておきます。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

美学・西洋美術史専攻の所属学生は前期から連続して履修すること。

出席が義務となりますので、やむを得ず欠席する場合は必ず事前に連絡してください(他の講義、演習などの時間を通じてでもOKです)。また、課題を進める上での質問や相談があれば、とくに毎週水曜日13:00~14:00に研究室へ、または次のEメールへご連絡ください。Kaoru.adachi.d1●tohoku.ac.jp (●は@に変えて送信してください)。

科目名：美学研究演習 I / Aesthetics(Advanced Seminar I)

曜日・講時：前期 木曜日 5 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：FONGARO ENRICO

コード：LM14503, 科目ナンバリング：LIH-ART614J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：美学研究演習 I

2. Course Title (授業題目)：Aesthetics(Advanced Seminar I)

3. 授業の目的と概要：西洋美学の重要文献の原文および日本語訳を精読し、理解する。美学の専門的なテーマについて分析、発表し、議論をする能力を養う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The course aims to read carefully and understand important texts concerning Western aesthetics, in original language or translated in Japanese. The students will improve their ability to analyse, give presentations and discuss about topics related to aesthetics.

5. 学習の到達目標：西洋美学の重要文献について取り上げ、原文および日本語訳を対象しながら、美学の専門的なテーマについて分析、議論を行う。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The course will be based on an important text concerning Western aesthetics, that will be read in original or in Japanese translation, analysed and discussed by the students.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

この科目では Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。

クラスコードは 14whq6m です。

Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

1. ドゥルーズとは誰か
2. ドゥルーズとシネマ
3. 『シネマ 1』：運動に関するテーゼ
4. 『シネマ 1』：フレームとショット
5. 『シネマ 1』：モンタージュ
6. 『シネマ 1』：モンタージュ
7. 『シネマ 1』：イメージとは
8. 『シネマ 1』：知覚イメージ
9. 『シネマ 1』：感情イメージ
10. 『シネマ 1』：欲動イメージ
11. 『シネマ 1』：行動イメージ
12. 『シネマ 2』：時間イメージ
13. 『シネマ 2』：時間イメージ
14. 『シネマ 2』：時間イメージ
15. 試験

8. 成績評価方法：

口頭試験 (80%) およびレポート (20%)。

9. 教科書および参考書：

ジル・ドゥルーズ、『シネマ 1、運動イメージ』、『シネマ 2、時間イメージ』。

10. 授業時間外学習：Gilles Deleuze, Cinema 1, L' image-mouvement; Cinema 2, L' image-temps.

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：なし

毎回の授業後に、授業でとりあげた映画を見ることが必須である。映画の上映については授業時に詳しく説明する。